



学校だより

7月号
横浜市立桜台小学校
令和5年6月30日発行



少人数指導の成果

校長 小宮 健

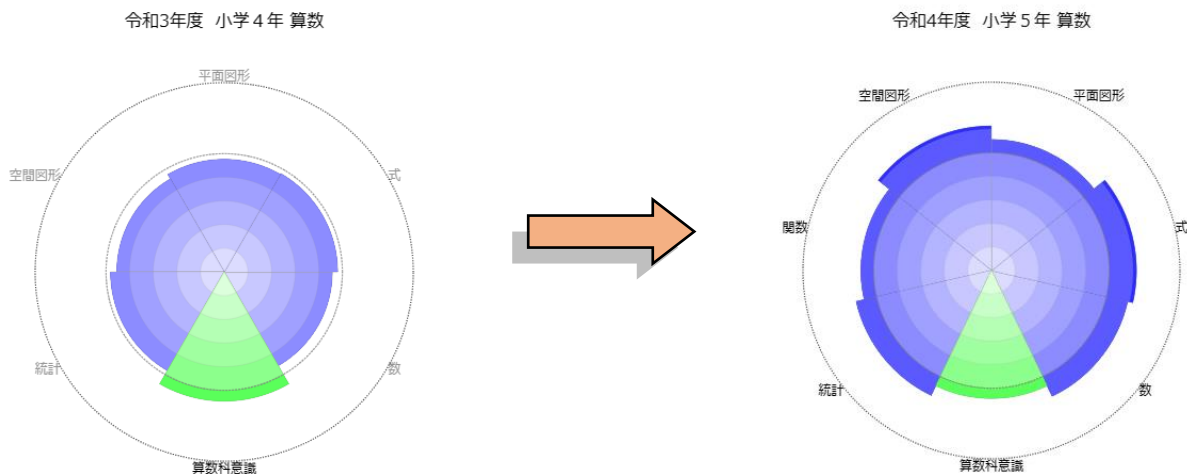
梅雨の合間をぬって水泳学習が行われています。水しぶきが上がるプールからは子供たちの歓声が聞こえてきます。蒸し暑さに負けず、教室では真剣な表情で集中して課題に取り組む姿が目に見えます。この調子で夏休みまでの3週間を過ごしていきたいと思います。

さて、基礎・基本の定着や発展的学習の充実、思考力や活用・応用力の向上などを目的として、本校では令和2年度から、自己意識や学習意欲に個人差が見られてくる中学年（3・4年生）を対象とした算数の習熟度別少人数指導を始めました。

基礎・基本の定着に重点をおいた「じっくりコース」、一般的な進度で課題に取り組み自力解決力を高めていく「しっかりコース（2グループ）」、これまでに培った力を生かして問題解決力へと発展させていく「すいすいコース」と、各学年3学級を習熟度別の4グループに分けて学習しています。コースは児童の実態に即し、自身の希望や保護者のご意向を踏まえて選択しています。

導入後3年が経過しましたが、令和4年度4月実施の「横浜市学力・学習状況調査」のデータを見てみると、算数の学力に次のような変化が見られました。

現6年生の算数における学力の推移（令和2～3年度の2年間、少人数指導を実施後の結果）



内側の点線が市の平均値です。2年間の習熟度別少人数指導の成果が表れ、算数科の各領域において学力が向上したことが分かります。今秋に届く今年度のデータも検証して、今後の学習指導に活用してまいります。

これまでに、算数の「好き・嫌い」は「計算力」に起因しているというアンケート結果をいくつか目にすることがあります。「算数／数学」が好きな理由に「計算が好き・得意だから」という声が多くあがっていた一方で、苦手な理由にも「計算が苦手・嫌いだから」があり、「計算」が分岐点の一つになっているようです。また、計算で正確に速く答えを導くために工夫することは、物事を組み立てたり合理的に処理したりする力につながると考えます。

夏休みに本校の独自教材「ギザギ算」(<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sakuradai/index.cfm/1,0,61,html?20230705113240105>)に取り組んでみてはいかがでしょうか・・・。（パスワードは改めてメール配信いたします）